

■ コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当り20.1人とやや増加しており、例年同時期と比べてかなり多い状態が続いています。安芸区、安佐北区、中区で定点当り20人以上となっており、西区、東区、南区、佐伯区で定点当り10人以上となっています。

図に示したように、今年は9月以降、感染性胃腸炎患者から、ノロウイルスが多数検出されており、感染性胃腸炎の主要原因になっていると考えられます。

2. 水痘

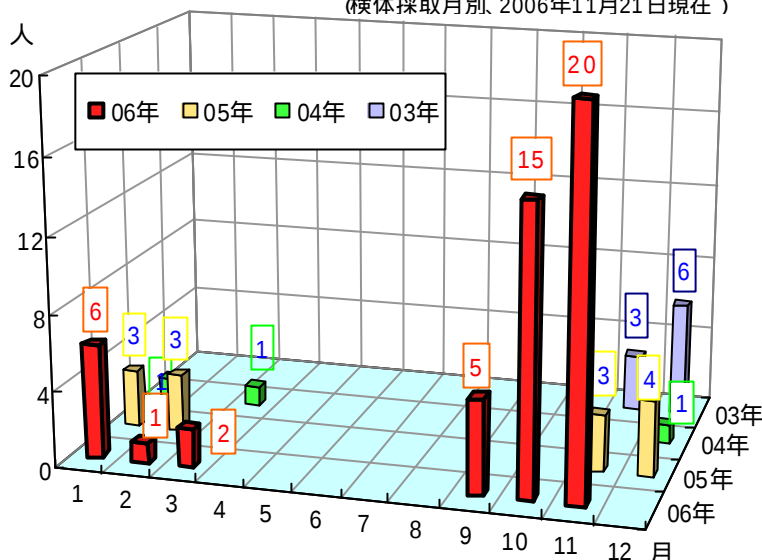
定点当り1.79人と急増しています。東区では5.7人となっています。

3. インフルエンザ

2人(定点当り0.05人)報告されています。

ノロウイルスの年次別月別検出状況(速報値)

(検体採取月別、2006年11月21日現在)



■ 5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	2	0.05	0.14		麻疹(注3)	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	8	0.33	0.11		流行性耳下腺炎	3	0.13	1.21	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1.54	1.25		RSウイルス感染症	2	0.08		
感染性胃腸炎	483	20.13	7.97		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	43	1.79	1.87		流行性角結膜炎	4	0.50	1.15	
手足口病	2	0.08	0.28		細菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
伝染性紅斑	2	0.08	0.13		無菌性髄膜炎	3	0.43	0.03	
突発性発疹	9	0.38	0.83		マイコプラズマ肺炎	7	1.00	0.34	
百日咳	-	-	0.03		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.04						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)

(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く

(注3)成人麻疹を除く

(注4)オウム病を除く

■ 1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
4	A型肝炎	1	6	女性(40歳代)

■ 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	第42週 第43週 第44週 第45週 第46週	インフル エンザ (注1)	咽頭結膜熱 球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ 菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第42週	-	4	37	266	22	4	4	21	-	-	1	-	6	2	-	9	-	-	6	-	-
		第43週	-	5	19	379	10	2	6	12	-	-	-	-	4	-	-	6	-	-	6	-	-
		第44週	3	6	29	384	23	1	6	12	1	-	-	-	4	-	1	2	1	1	5	-	-
		第45週	3	7	32	431	15	-	10	13	-	-	3	-	1	4	1	3	-	-	4	-	-
		第46週	2	8	37	483	43	2	2	9	-	-	-	-	3	2	-	4	1	3	7	-	-
定点 当り	広島市	第42週	-	0.17	1.54	11.08	0.92	0.17	0.17	0.88	-	-	0.04	-	0.25	0.08	-	1.13	-	-	0.86	-	-
		第43週	-	0.21	0.79	15.79	0.42	0.08	0.25	0.50	-	-	-	-	0.17	-	-	0.75	-	-	0.86	-	-
		第44週	0.08	0.25	1.21	16.00	0.96	0.04	0.25	0.50	0.04	-	-	-	0.17	-	0.13	0.25	0.14	0.14	0.71	-	-
		第45週	0.08	0.29	1.33	17.96	0.63	-	0.42	0.54	-	-	0.13	-	0.04	0.17	0.13	0.38	-	-	0.57	-	-
		第46週	0.05	0.33	1.54	20.13	1.79	0.08	0.08	0.38	-	-	-	-	0.13	0.08	-	0.50	0.14	0.43	1.00	-	-
	全国	第44週	0.01	0.30	1.46	7.08	0.85	0.70	0.30	0.60	0.01	-	0.08	-	0.89	-	0.02	0.73	0.02	0.04	0.58	0.02	-
		第45週	0.02	0.31	1.53	11.22	1.12	0.64	0.32	0.61	0.01	-	0.06	-	0.99	-	0.03	0.81	0.02	0.03	0.65	0.02	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

■ 5類感染症報告状況の推移 (STD (性感染症)・基幹定点月単位報告分)

報告数	広島市	9月 10月	STD (性感染症) 定点												基幹定点								
			性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭 コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
報告数	広島市	9月	23	14	9	9	5	4	5	1	4	14	11	3	56	33	23	4	0	4	1	1	0
		10月	21	18	3	13	6	7	5	4	1	17	16	1	43	28	15	7	4	3	5	3	2
定点 当り	広島市	9月	2.56	1.56	1.00	1.00	0.56	0.44	0.56	0.11	0.44	1.56	1.22	0.33	8.00	4.71	3.29	0.57	0.00	0.57	0.14	0.14	0.00
		10月	2.33	2.00	0.33	1.44	0.67	0.78	0.56	0.44	0.11	1.89	1.78	0.11	6.14	4.00	2.14	1.00	0.57	0.43	0.71	0.43	0.29
	全国	10月	2.78	1.21	1.57	0.97	0.38	0.59	0.57	0.32	0.25	1.00	0.83	0.16	4.18	2.62	1.56	0.86	0.47	0.39	0.23	0.14	0.09

定点数 STD 定点 9 基幹定点 7

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	1	女	2006/10/05	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	1	男	2006/10/09	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	1	男	2006/10/12	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	0	男	2006/10/15	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	1	男	不明	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	2	女	不明	糞便	ノロウイルスG2群
突発性発しん	0	女	2006/10/05	糞便	エンテロウイルス
その他の泌尿生殖器疾患 (出血性膀胱炎)	0	男	2006/10/11	糞便	エンテロウイルス

ノロウイルスに注意！

感染性胃腸炎の患者が、例年同時期と比べてかなり多い状態が続いており、患者からノロウイルスが多数検出されています。より一層の注意が必要です。

- 手洗いは、石けんを用いて念入りにこすって洗い、十分に水で洗い流してください。
- ノロウイルスに対する消毒は、**次亜塩素酸ナトリウム**または**熱湯 (85℃以上、1分以上)**が有効です。
- ノロウイルスは、便や吐物に多量に含まれていますので、処分するときの取扱に十分注意をしてください。

詳しくは、広島市感染症情報センターホームページの感染症トピックス「ノロウイルスによる感染性胃腸炎」をご覧ください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター / 広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第46週 (11月13日～11月19日)